

JA みねのぶ



峰延農協年金友の会スポーツ大会（峰延小学校体育館、8月8日）

■発行日/平成28年9月1日/No.1373号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



森川組合長と懇談する高橋美唄市長

美唄市長が小麦集出荷調製施設に 激励来訪

7月28日、高橋美唄市長が峰樺3区にある美唄市小麦集出荷調製施設と峰延地区収穫機械利用組合を激励に訪れました。

高橋美唄市長一行は、小麦の刈取りと集荷調製作業が始まつた28日に美唄市内にある集出荷調製施設を訪問し、刈取り状況や作況等を聞き取りして回り、当JAの施設には同日16時頃に訪れ森川組合長が対応しました。

高橋美唄市長は、安全な作業に努め、良品質麦がたくさん出荷されるように願っていますと述べました。

第2回監事監査終わる

本年7月末を基準日とする第2回監事監査が8月17日から19日までの3日間、浅香代表監事以下3名の監事によつて執行されました。本年度の第2四半期における事業の進捗状況及び会計処理の状況等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。

第7回(8月)定例理事会の開催について

8月24日開催の第7回定例理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. JA全国監査機構監査の監査結果について
2. 諸規程及び要領の一部改正について
3. 北海道への土地売却について
4. 遊休資産の売却について

おくやみ申し上げます

今野 美登利さん (81歳) 7月31日

高川 シゲさん (88歳) 8月6日

岩見沢市岡山町191

尾高 龍一さん (64歳) 8月7日

佐伯 忠雄さん (82歳) 8月11日

岩見沢市北村中小屋4585番地

貞廣 貞幸さん (87歳) 8月12日

岩見沢市峰延町566

美唄市光珠内町北

貞廣 貞幸さん (87歳) 8月12日

一報徳一

『地域コミュニティと協同組合活性化は報徳精神で』

尊徳翁が桜町の復興を進めにあたつて、担い手を

育てるために最初に行つたことは、生産者が暮らしやすい生活基盤をつくる事でした。道路や水路、河川の整備など（今では自治体が行うことですが）社会インフラを整えました。また、農家の廁（トイレ）や屋根の葺き替えなど住環境の整備も行っています。

それでは現代の農漁村で求められている住みやすさとは何でしょうか。地域によっての違いはあり、また、自治体が担う部分もあり、総合協同組合が行うこととは限られ

ていると思われます。しかし、住みやすい地域コミュニティをどのようにサポートするのか、検討が必要です。ある農村の例では、補助事業を活用して農協が主導した事例があります。各家庭の汲み取り式のトイレを改修し、簡易浄化槽を設置して水洗トイレを導入しました。気がつきにくいことかも知れませんが、都会から新たな新しい手を招く上で重要なことのよう

です。

また、尊徳翁は、減少した農民人口を増やすために北陸から移民を受け入れるのではなく、様々な援助を行つたと伝えられています。田畠開墾について無利息金の貸付や農具の貸与などを行つています。現代でも新規参入者への助成措置が各町村単位で行われていますが、尊徳翁が心がけたことがあります。それは過度に援助しないということです。既存の生産者との関係もありましたが、新規参入者が援助に過度に頼らないよう、自立心を損なわない範囲でのきめ細かい対応だつたと伝わっています。

(協同組合と報徳VI)

協同組合の誇りと使命より



日ハムファイターズ「フレップくん」が訪れる

JA女性部が美唄歌舞裸まつりに フリー・マーケット出店

去る8月7日、JA女性部（吉村俊子部長）が美唄歌舞裸祭りのフリー・マーケットに出店致しました。

販売する商品は、部員から提供された野菜や日用品で、当日の販売は役員が担いました。

前日の夕方から役員と班長が集まり、野菜等の袋詰めや値段付けの準備を行いました。

当日は天候に恵まれ、商品を陳

列している先から洗剤等は直ぐに売り切れ、野菜も順調に売れまし

峰延農協年金友の会が スポーツ大会開催

8月8日、峰延農協年金友の会（中西勇夫会長）のスポーツ大会が峰延小学校体育館で開催されました。

このスポーツ大会はスポーツ競技を通して会員相互の友好の輪を広げるとともに健康増進を図ることを目的に毎年開催を続け今年で35回目となります。



開催の挨拶を聞く皆さん

た。今年の歌舞裸祭りは北海道日本ハムファイターズ主催「北海道スマイルキヤラバン」が同時開催され、ファイターズのマスコット「フレップくん」もテントに顔出してくれました。

毎年、部員の皆様からは多くの野菜や日用品を提供していただきありがとうございます。対面販売により消費者と直接交流することができ、峰延産の安全・安心で新鮮なおいしい野菜をお届けすることができました。

今後も女性部事業へのご協力をよろしくお願い致します。

参加者は110人余り、中西会長の挨拶、JA伊藤専務の祝辞に続いて全員で準備体操を行い、全11種目にグループまたは個人で全員が参加し、童心に戻って楽しく競技を行つていました。

心配された怪我人や熱中症等はなく、楽しいひと時を過ごしていました。

た。
参考者は110人余り、中西会長の挨拶、JA伊藤専務の祝辞に続いて全員で準備体操を行い、全11種目にグループまたは個人で全員が参加し、童心に戻つて楽しく競技を行つっていました。

心配された怪我人や熱中症等はなく、楽しいひと時を過ごしていました。

内生産と自給率の高い米の消費が減少する一方で、小麦やてん菜の国内生産が増加したため、前年度と同率の39%となりました。生産額ベースの食料自給率は、野菜や畜産物の国内生産額の増加により66%となり、前年度から2ポイント上昇しました。

政府が掲げる食料自給率の目標は、平成37年度にカロリーベースで45%（平成27年3月にそれまでの50%から45%に引下げ）、生産額ベースで73%に高めると設定されていて、近年の横ばいで推移している状況や環太平洋連携協定（TPP）の影響も懸念され、目標の達成は難しいと思われます。

食料自給率には、国産の食材をカロリーに置き換えて示した「カロリーベース」と金額に置き換えた「生産額ベース」の2種類があつて、日本はどちらの計算でも先進国の中では最低水準となっています。

農水省は8月2日、平成27年度

627年度食料自給率、
6年連続の39%で横ばい状態

J A 女性部 「部員1人タオル1本運動」で 集まつたタオルを寄贈



平泉園長に手渡す吉村部長と新谷副部長

「A女性部（吉村俊子部長）が、『部員1人タオル1本運動』で集まつたタオル・綿布を、8月18日に峰延町公園にある恵風園・恵祥園の高齢者福祉施設を訪れ寄贈しました。

この事業は全部員参加の運動と

して、粗品や記念品でもらう新品のタオル1本又は使い古しの綿布（洗濯済みのもの）を持ち寄り福

祉施設等で役立ててもらおうと年1回寄贈を行っています。今年は

タオル33本、綿布3.1kg、千代紙で作った爪楊枝入れと一緒に届け大変喜ばれました。

また、訪れた日は美唄サテライトキヤンバスの一環で札幌国際大学短期大学部幼児教育保育学科の学生の皆さんによるふれあいコンサートが開催されており、短い時間でしたが見学させていただきました。

「一日ホクレン」開催される

8月24日、当JA三階会議室で「一日ホクレン」が開催されました。「一日ホクレン」は、JA経

済（購買・販売）事業に関する課題解決方策の検討や意見交換を通じ、生産者・JA・ホクレン間の意思疎通、連携強化を図ることを目的としてホクレンが毎年定期的にJA毎に開催していく、今回は当JAの開催となりました。

ホクレン岩見沢支所の職員及び当JA生産組合代表者、青年部・女性部の役員、当JAの役職員合わせて39名が出席しました。

開会に当たり、ホクレン岩見沢支所の本田支所長が「TPPは衆院で継続審議となつているが米大統領選の結果も影響、米政策の見

直しの動向、小泉農林部会長が指摘する生産費の問題等の課題解決にJA、組合員の皆さんと連携して取り組んでいきたい。」等と挨拶を述べました。森川組合長の挨拶に続いて、米穀課、農産園芸課、酪農課、生産資材課、施設資材課、燃料自動車課、物流課から事業概況や品目別の情勢の説明がありました。

JAは、今後の米価の動向、飼料用米の方向性、生産コスト低減で肥料・農薬の価格設定の見直しの具体的な内容等の様々な質問が出されました。

出席者から、今後の米価の動向、



8月20日からの大雨で 上美唄町に避難勧告

前線が停滞し南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、上川、空知管内を中心に、8月20日午前から激しい雨に見舞われました。空知管内では、中・北空知を中心に住宅や田畠への浸水被害が相次ぎました。河川に設置の全ての排水機場が稼働する状況となり、上美唄地区で旧美唄川に内水を排除する上美唄排水機場で、旧美唄川の水位が12.35mに達すると排水ポンプが停止し内水を旧美唄川に排水することが出来なくなり内水の水位が上昇するため、美唄市からJA美唄市区域を含む上美唄町の116世帯に対し指定避難場所へ避難するよう避難勧告が出されました。一部の市道と農地で冠水

高川俊一さんから善種金に推譲

定年退職後準職員として勤務し

ている高川俊一さんから、昨年10月に父、本年8月に母が他界し、農業を営んでいた両親がJAに長年にわたりお世話になつたとして、善種金に5万円の推譲をいただきました。ご厚志に深く感謝し厚くお礼申し上げます。

がありました。第二幹川近くに住む橋本博さんは昭和56年の大洪水を思い出し、怖かつたと話していました。



第二幹川の様子(8月21日午前9時頃)

J A青年部が現地研修会開催

8月23日、JA青年部の上島達也営農専門委員長が青年部事業の現地研修会を開催し19名が参加しました。

光珠内の玄米集出荷調製施設前に、農機具メーカー3社（クボタ、ヤンマー、ヰセキ）の最新のコンバインの自脱形、普通形の各1台、全6台を並べ、各メーカーの担当



小雨降る中、熱心に聞き入る青年部員

者が各機種の特徴等をプレゼンしました。中にはグレンタンク内のモミに光を照射して水分とタンパク含有率を測定し操縦室内に表示する機種、モミを排出するオーナーが操縦席で伸縮可能でオーナーが左右にスイングしてモミの均一排出が出来る機種、ステアリングが乗用車と同じ丸ハンドルの機種があるなど、青年部員の皆さんは新しい技術の導入されたコンバインに興味津々でした。プレゼンの後は実際にコンバインに触れ、担当者に質問する時間が設けられピカピカのコンバインの操縦席に座ったり、脱穀部の内部を見たり、担当者に詳しい説明を求めたりと小雨が降る状況でしたが予定された時間が足りないほどでした。

J A峰延の銘酒「一圓融合」

高橋美唄市長が、美唄市出身の高名な彫刻家でイタリアを主な拠点に活躍している安田侃氏の野外彫刻展「Toccare il Tempore」時に触れる」が開催されているイタリアのピサ市を訪れ、ピサ市等を表敬訪問し彫刻展を観察しました。

この訪問は、野外彫刻展を開催しているピサ市長から、作者の安田侃氏の出身地で最大数の作品を常設展示している「安田侃彫刻美術館アルテピアツツア美唄」のある美唄市長に対し、訪問の案内状が届いたことがきっかけで実現しました。この野外彫刻展は、ピサ市から安田侃氏への要望で開催することになつたもので、ピサの斜塔をはじめ歴史的建造物が並ぶピサの歴史的な出来事の舞台となつた旧市街地や広場などに彫刻が展示されていて、本年6月30日から10月16日まで開催されています。

訪問の日程は、日本時間で8月8日から12日までの3泊4日、高橋市長は彫刻展の開催地ピサ市や安田侃氏の工房があるピエトラサンタ市を訪問しました。



右から安田侃氏、ピサ副市長、高橋市長、ピエトラサンタ市長

高橋市長は、日本や美唄を紹介するため、お土産の目玉として当JAの銘酒「一圓融合」を持参し、ピエトラサンタ市の約650年前に建てられた市役所庁舎の一室でマッシモ・マッレン二市長と面談した際に「一圓融合」等を手渡しました。また、8月10日はトスカーナ州ピサ市を訪問し、市役所庁舎の一室で野外彫刻展の担当のパオロ・ゲツツィ副市長に「一圓融合」を手渡しました。

JAグループ通信

No.1

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

引き続き8月末の平成29年度農業予算概算要求に向け、働きかけを行つて参ります。

北海道農業の確立に向けた政策提案」をもとに、北海道農業の課題や現状を共有し、今後の方針性や対応等について意見交換をしました。

「持続可能な北海道農業の確立に向けた政策提



J A 北海道中央会

J A 北海道信連

平成20年度より、「JAバンク食農教育応援事業」を展開しています。

子どもたちが食・環境等と農業のつながりを意識し農業への理解を深めるきっかけとなることを願い、JAを通じて道内の全小学校に教材本「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈し授業等の中での活用をお願いしています。

本年度は41,136名へ教材とDVDを贈呈しま



道内のホクレン給油所において、7月16日から9月30日の期間、店頭給油をしていただいた方を対象としたキャンペーン、「サマーフェア2016」を実施いたします。



ホクレン

J A 北海道厚生連

「より実践的な家庭内での介護技術の習得」を目的とした家庭介護教室を今年も開催します。安心して暮らせる地域社会の実現に向けたJAの高齢者福祉対策の一環としてJA女性部員の皆さんを対象に取り組んでいます。今日から使える介護実技と講義等を通じて、家庭介護技術の普及に取り組んで参ります。



地域社会貢献活動の一環として、交通事故被害者に対する救命活動支援をはじめ、交通安全教室の開催など、交通事故防止等に向けた取組みを積極的に展開しています。

7月13日に「飲酒運転根絶の日決起大会」が開催され、同決起大会と、大会後、札幌市内において実施されたセーフティコル（街頭啓発）に参加しました。



J A 共済連北海道

JAグループ通信

No.2

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A 北海道中央会



J A 北海道信連



J A 共済連北海道



JAグループ北海道



農・JAの魅力を伝えるスマートフォンアプリ「JA²MP（ジェイエイジャンプ）」のダウンロードを開始しました。農業イベントや関連施設のチェックイン・ポップトラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、皆さん一人一人が北海道の魅力を再確認していただけるよう地域の魅力発信に努めて参ります。

J A 北海道大会決議事項である「サポートー550万人づくり」に向けて、道民の皆さんに食と

北海道若手女性農業者集団「Links」のメンバーを講師に、小学生とその親を対象とした「学ぶ・作る・食べる旬食カレッジin札幌親子料理教室」を開催しました。

「料理教室」と「食の講演」を通じて、地域の皆さんに地元食材のファンになつてもらい、さらにJAバンクの商品・利便性を紹介してのサポートーにつなげることを目的としています。



ホクレン



酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率の低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施します。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。問い合わせください。



J A 北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報をお伝えしております。是非ご一読ください。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。是非ご一読ください。

共済ホールで、「全道LA・スマサポ大会」を開催し、前年度の普及活動で優秀な成績を収めたLA62名と、スマサポ29名を表彰しました。JA共済では、これからもLA・スマサポによる「3Q訪問活動」と「あんしんチエック」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めて参ります。



火災はもちろん自然災害や地震まで 確かな保障を提供します。「むてき」

契約日が平成16年4月1日以後の建更共済「むてき」には遡及適用されます！

POINT 1 風災、ひょう災、雪災時に5万円の損害から共済金が支払われます。

平成22年までの建物更生共済では、風災・ひょう災・雪災による損害額が20万円以上の時に共済金が支払われましたが、5万円以上の損害でも共済金が支払われるようになりました^{*1}。

POINT 2 盗難被害にあった時に、5万円が支払われます。

共済期間中に盗難によって損害が生じたことにより、火災共済金または通貨等盗難共済金の支払事由に該当した場合は、盗難による損害の再発防止のために、共済期間中1回を限度に5万円を支払います^{*2}。

POINT 3 水災によっても残存物とりかたづけ費用共済金が支払われます。

従来、火災等・風災・ひょう災・雪災に限り支払われていた残存物とりかたづけ費用共済金が水災によっても支払われるようになります。

J A の建物更生共済は様々な損害を保障します！

火災



落雷



水ぬれ



盗難



台風



降雪



地震



火山噴火



あなたの大切な財産を守ります！

*1 ①損害割合5%以上、②損害割合が3%以上(床下浸水除く)のいずれかに当てはまる場合。

*2 継続特約付建物更生共済契約における盗難再発防止費用共済金については、10年の共済期間ごとに1回の支払いとなるため、継続回数1回の場合(通算共済期間が20年)は通算2回の支払い、継続回数2回の場合(通算共済期間が30年)は通算3回の支払いとなります。

※上記の内容は平成29年3月31日まで有効です。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[16019990020]

お問い合わせは

JAみねのぶ 共済課 ☎ (0126) 67-2113

JA共済